

令和7年度 全国連合退職校長会理事会・第61回総会《報告》

【理 事 会】

日 時 令和7年6月5日（木） 13:00～16:30

会 場 きゅりあん（品川区立総合区民会館）小ホール

東京都品川区東大井 5-18-1

福島県参加者 理 事 会 長 福士 寛樹

アドバイザー 事務局長 鈴木 博

1 開会の挨拶

2 会長挨拶 会長 田中 昭光

3 令和6年度 会務報告

4 令和6年度（一般・特別・事業会計）決算報告・監査報告

5 「役員選出」並びに「総会宣言文案の作成」について

＜会則 第5条＞（役員の選出）理事会において選出し、総会の承認を得る。

※ 東北地区からは、東北地区退職校長協議会会長である本会の福士寛樹会長が選出された。

6 総会の議長候補の選出

7 令和7年度「役員候補者の選出」報告

8 令和7年度 活動目標・事業計画（案）

9 令和7年度（一般・特別・事業会計）予算書（案）

10 令和7年度「総会宣言」文案の発表

11 その他

○ 調査・報告等に関する依頼

○ その他

12 全連退の歌「光かかげて」斉唱

13 閉会の挨拶



○ 理事会は、主に総会の議案について審議されました。

田中会長からは、少子高齢化、小中学校の統合、先生方の情熱を支えていく、行政への圧力、学校の活力などについての話があった。

事務局からは、国への要望、意見具申と文科省、教育関係団体との連携・協働について、また、会報、年間紀要のA版化や賀詞・賀寿の継続したことなどの説明があった。

各都道府県の理事の中からは、昨年同様、全連退の活動成果の検証等をわかりやすく伝えていくべきである。多様な会員が増え、入会率が下がっていることや学校が困っていることとして保護者の家庭教育の差が大きく、そのことが学校の多忙化につながるため、幼稚園・保育園の義務教育化を要望してはどうかの意見などがあげられた。

【第61回 総 会】

日 時 令和7年6月6日（金） 10:00～15:00

会 場 きゅりあん（品川区立総合区民会館）小ホール

東京都品川区東大井 5-18-1

福島県参加者 理 事 会 長 福士 寛樹

監 事 副 会 長 坂爪 靖夫

代議員 事務局長 鈴木 博

＜開会行事＞

- 1 開会の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 全連退綱領の唱和
- 4 会長挨拶 会長 田中 昭光
- 5 来賓祝辞

文部科学大臣 様（文科省初等中等教育局視学官が代読）

全国連合小学校長会会長 様（全連小事務局長が代読）

- 6 来賓紹介・祝電披露



＜総 会＞

- 7 議長選出 川端 重義 副会長（神奈川県）関東甲信越地区
中室 清文 副会長（奈良県）関西地区

8 議 事

第1号議案 令和6年度 会務報告

第2号議案 令和6年度（一般・特別・事業会計）決算報告・監査報告

第3号議案 令和7年度 役員の承認 ※令和7年度は、役員の改選期 役員の任期は2年

会 長 田中 昭光（東京都）

副会長 佐藤 晴樹（北海道）

福士 寛樹（福島県）

土門 能夫（茨城県）

川上 憲治（石川県）

和田 良彦（大阪府）

徳永 正夫（広島県）

西川 和裕（香川県）

緒方 知秋（熊本県）

監 事 米澤 喜彦（秋田県）

梅井 隆男（茨城県）

青木 廣志（富山県）

第4号議案 令和7年度 活動目標・事業計画（案）

第5号議案 令和7年度（一般・特別・事業会計）予算書（案）

第6号議案 令和7年度「総会宣言」の採択



- 令和7年度の活動計画、予算案が原案どおり承認されました。

その中で、教員の教職調整額が段階的に10%にする教員給与特別措置法が衆議院を通過したこと、柔軟な教育課程が可能になり、40分授業の午前中5コマを実施する学校が増えたこと、また、全国の会員数が1年で3,000人が減少したことなどが報告されました。

※ 詳細については、全連退の会報に掲載されます。

<閉会行事>

9 感謝状並びに記念品贈呈

- 監事 坂爪 靖夫 (本県副会長) 監事を2年間務め感謝状が贈呈された。

10 閉会の辞

<創立60周年記念講演会>

演 題 『乱にいて治を忘れず 治にいて乱を忘れず』

～3.11から学んだこと伝えたいこと～

講 師 3.11震災語り部 菅 原 貞 芳 様

(元宮城県南三陸町立志津川中学校長)

- 震災から避難所の様子等について、映像と写真を交えて説明があった。

押し寄せる大津波。学校に避難している地域住民。避難所としての学校等々。

私たちにとって、当時の自分たちの姿と重なり合い、話を聞きながら涙が滲んだ。

講演資料の中から、学んだことをいくつか記してみる。

～乱にいて治を忘れず～避難所の設営と運営

1 避難所運営方針

- ①情報共有 ②弱者優先 ③安全確保 (衛生面も含め)

2 防災倉庫

- ①最低3日間がんばれる備蓄内容 ②備蓄品の定期的な点検と補充 ③緊急トイレ

3 あれば便利なもの

- ①旧式の石油ストーブ ②太いローソク ③ソーラー式発電機・電灯等

4 町内会 (地区) ごとの男女別・部屋割り

5 衛生的な避難所 (モラルが保持される要素)

- ①土足厳禁 ②嘔吐物処理グッズ ③手指消毒液の配置、手洗い啓発

～治にいて乱を忘れず～普段からできること

1 学区内を知る (校舎敷地、周辺地域)

2 出席簿は「命の確認簿」 非常時の人員点呼 職員室⇔授業

3 実践的な避難訓練

- ① 様々な発生時間帯を想定 ②訓練内容の工夫 (幼小中合同・地域住民と共に)

4 危機管理の三段階

- ① 日常の危機管理 ・実践的な防災訓練 ・明確な判断基準 (引き渡し、学校待機など)

- ② 発生時の危機管理 ・児童生徒の安全確保と情報収集 ・停電時等の情報の発信

- ③ 発生後の危機管理 ・避難所運営における学校・行政・住民の明確な役割分担など

5 地域の防災を担う人材を育てる防災教育